

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

2015年度第7回（通算第36回）理事会 議事録

1. 開催日時：2016（平成28）年5月7日（土）12:00～12:44、17:18～17:52）

2. 場 所：「福島テルサ」 会議室「あづま」「あぶくま」（福島市上町4番25号）

3. 審議事項および資料

第1号議案（決議）専門委員会「災害対策委員会（仮称）」の設置

第2号議案（決議）i-CREATE2016への派遣について

第3号議案（決議）i-CREATE2016への派遣費用の支出について

第4号議案（決議）第32回リハ工学カンファレンス in こうべ要綱等の承認

第5号議案（決議）第31回リハ工学カンファレンス in こうち演題募集期間延長の承認

4. 理事総数 14名

出席理事数 10名

会長（代表理事） 繁成剛

理事 石濱裕規、岩崎満男、沖川悦三、金井謙介、杉本昌子、高原光恵、中村俊哉、
宮野秀樹、吉田泰三

監事 相川孝訓、赤澤康史

事務局 深野栄子

欠席者 剣持悟、水澤二郎、山形茂生、畠中規

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

（1）定款第49条に基づき、議長となる会長の繁成剛が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。

（2）議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の中村俊哉と宮野秀樹の2名を選出した。

第1号議案（決議）専門委員会「災害対策委員会（仮称）」の設置

分科会・委員会担当の岩崎理事より、熊本地震現地調査についての報告と災害対策委員会設置趣意書が提示された。激甚災害が発生すると、障害のある人々は一般の被災者よりもさらに過酷な避難生活を強いられることが多い。福祉用具等を活用することで、また、仮設住宅等における居住環境を障害に応じて整えることで災害関連死や二次障害を防げる可能性があるが、適合まで考慮した福祉用具等の供給体制が整うまでに相当期間を要するが容易に予想されるため、本協会において災害対応体制が本格的に整備されるまでの期間、期限付き委員会である「災害対策委員会（仮称）」を設置し、当面の間、平成28年熊本地震による被災者（大分を含む）の具体的支援策を検討したく、設立趣意書提示の上、同委員会の初期メンバーを次のとおりとし、理事会の承認後、委嘱することとしたいとの提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。なお当委員会設置期間は承認後、2018年6月30日まで（ただし、協会内に常任委員会等の災害対応体制が整備されればその時点で移行もしくは終了）とする。

災害対策委員会の設立趣意書

1. 名称：災害対策委員会と称す

2. 設立目的：平成28年熊本地震による被災された災害弱者（障がい者、高齢者等）および防災に関する

リハビリテーション工学支援

3. 対象分野：激甚災害支援
4. 委員長候補：沖川 悅三
5. 設立時委員候補：石濱 裕規、吉田 泰三、岩崎 満男（今後委員会内で必要に応じて構成員を追加）
6. 設立希望期間：2016年4月23日より、2018年6月30日（遡って適用）
理由：日本財団への震災ボランティア助成金に関し、すでに支出したものも含むため
7. 事業計画案：
 - ・日本財団への震災ボランティア助成金の申請
 - ・平成28年熊本地震による被災された災害弱者への具体的対応の検討
 - ・平成28年熊本地震による協会の初動活動の検討
 - ・大規模災害時支援活動基本方針の策定
 - ・JRATへの加盟検討
 - ・障害を持つ人の防災マニュアル（仮称）の作成
 - ・JASPA・福祉供給協会・愛隣館などの連携の窓口
 - ・平成28年熊本地震による被災された災害弱者への具体的対応
 - ・その他、災害対策委員会が独自に必要と認めたこと
8. 当初予算：10万円（今年度分）

承認9、非承認0（会長除く）

第2号議案（決議）i-CREAtE2016への派遣について

国際担当の畠中理事（繁成会長代理）より、昨夏当協会が加盟した CREATe Asia の主催する学会 i-CREAtE2016 の開催（2016年7月25日（月）から28日（木）までタイ・バンコクにて）にあたり、当協会からカンファレンス担当理事を派遣したいとの提案がされ、審議の結果、満場一致で承認された。

承認9、非承認0（会長除く）

第3号議案（決議）i-CREAtE2016への派遣費用の支出について

国際担当の畠中理事より、別途提案しているように、i-CREAtE2016に当協会から理事を派遣したく、その際の派遣費用（航空運賃および宿泊費）の支出について、通例は、すでに発表をエントリーしており、費用を別に確保できる理事、監事等を派遣しているが、今回該当者がおらず、その必要性を鑑み、派遣費用の支出の承認をいただきたいとの提案がされたが、国際関連の次年度予算枠の使用については検討が必要であるため、審議の結果、継続審議とした。

第4号議案（決議）第32回リハ工学カンファレンス in こうべ要綱等の承認

カンファレンス担当の剣持理事より、第32回リハ工学カンファレンス in こうべの要綱一式（①実行委員会設置規約 ②実行委員会名簿 ③事業要綱 ④実施要領 ⑤収支予算書）について提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認9、非承認0（会長除く）

第5号議案（決議）第31回リハ工学カンファレンス in こうち演題募集期間延長の承認

カンファレンス担当の剣持理事（宮野理事代理）より、第31回リハ工学カンファレンス in こうちの演題申し込み数が締め切り5日前の時点で28演題と少なめであり、協会の催事が重なったり、熊本の震災等により申込みが間に合わないとの申し出も受けたりしているので、実行委員会側からの要望もあり、演題登録期間の延長（延長期間は一週間とし、5/16（月）までとし、採択後の抄録募集開始は予定通り、5/26（木）とする。）について提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認9、非承認0（会長除く）

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2015（平成27）年度第7回（通算第36回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（17時52分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2016年5月7日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成27年度第7回理事会

議長 繁成 剛

議事録署名人 中村 俊哉

議事録署名人 宮野 秀樹